

中期目標期間内に達成すべき目標・目指すべき目標

○教育・研究に関する目標

区分	鳥取環境大学		他大学の状況
	中期目標	近年の状況	
就職率	国公立平均 91.1%以上を達成	H22 75.2%	全大学 H22 91.1% 中四国公立 H22 84.9%
ECO検定受検	期間内に 300 人	取得者数 H22 21 人	—
環境に関する国際会議、シンポジウム等	毎年度実施		—
競争的外部資金の申請	同規模（教員数）公立大平均 21 件以上	科研費新規申請数 H14～H23 の間 6～15 件で平均申請数 11 件	鳥取大学 近県公立大 H22（鳥根県立 27 件、岡山県立 78 件、県立広島 183 件、山口県立 47 件、下関市立 27 件）
公開講座の開催回数等	毎年 24 回以上 年間 1000 人達成	H22 16 回 451 人	鳥取大学 実施回数 80 回 近県公立大学平均実施回数 110 回、参加者 3,347 人
地域活性化・地域貢献に関する研究	大学 12 テーマ、 発表 7 回以上 TORC 11 テーマ、 発表 2 回以上	大学 12 テーマ、 発表 7 回 TORC 11 テーマ、 発表 2 回	—
海外大学との教員交流・学術交流	H23 3 校 共同研究 0	H23 3 校 共同研究 0	鳥取大学協定締結大学 85 校 近県公立大学平均 10 校（鳥根県立 14、岡山県立 8、県立広島 11、山口県立 12）
小中学校、高校への出前授業回数	H22 18 回	H22 18 回	—
TOEICスコア	600 点以上、 年間 30 人以上を 目指す	H22 3 人	—
退学率（※）	9.1%以下を目指す	H17 入学生 10.7% H18 9.1% H19 15.3% H20 14.1%	鳥取大学 6.3% 鳥根大学 5.9%
留学経験	150 人を目指す	H22 6 人 H21、H20 実施せず H19-6 人、H18-9 人 H17 -10 人、H16-15 人 H15 -24 人、 H14 -25 人、 H13 -14 人	—
競争的外部資金の採択率	近県公立大平均 35.3% (H22) 以上 を目指す	H23 35.7% H22 33.3% H21 44.4%	H22 鳥根県大 36.4%、岡山県大 42.2%、 県立広島大 33.6%、山口県立大 41%、 下関市立 12.9%
海外大学との学生交流・文化交流	学生数 31 人、 交流回数 7 回以上	H22 学生数 31 人、 交流回数 7 回	—
小中学校、高校の公式行事としての利用回数	21 回（H21）以上 での推移を目指す	H23 6 回 H22 2 回 H21 21 回	—

○経営・組織に関する目標

入学定員充足率	100%達成	H23 81%、H22 54% H21 55%、H20 44%	H21 公立平均 1.05 鳥取大学 1.05 近県公立大（鳥根県立 1.09、岡山県立 1.11、 県立広島 1.05、山口県立 1.06）
高校・保護者との意見交換	意見交換会の創設と 毎年度実施	—	—
大学活動に関するアンケート実施	県民からのアンケートを定期的実施	—	—

高校訪問数、対象エリア	12 府県の基本 1,298 校 (H23) 以上の訪問を実施	H23 1,375 校	—
教員対象説明会	8 府県基本 100 校以上	H23 春 延べ 98 校、 秋 延べ 94 校、 実数 147 校	—
高校生・保護者向け説明会	進学相談会来場者数 320 人以上達成	H23 実績 312 人	—
黒字化	早期に黒字化を達成		
・収入額	新学部完成前：H24 年間 5.5 億円以上を達成 H25-6 億円以上 H26-6.5 億円以上 新学部完成後：H27～29 7 億円以上		
・自己財源比率	27 年度以降、50%以上を目指す	—	中四国公立大学平均 43.9%
・経常的支出に占める人件費の割合	65%以内を目指す	—	中四国公立大学平均 63.5%
志願倍率	毎年度 2 倍以上を達成、5 倍以上を目指す	H23-1.7 倍 H22, H21, H20 の志願者数は募集定員を下回る	H23 国公立大学平均値 5.0 倍 H21 公立大学平均値 6.1 倍
全学的な大学行事への参画率	教職員参加率 80% 以上を目指す	オープンキャンパス参加率 職員 92%、教員 43.5%	—
オープンキャンパス参加者数	1,406 人 (H23) 以上を目指す	1,406 人 (H23) 729 人 (H22) 679 人 (H21)	鳥取大学 H22 1,323 人、H21 1,490 人

○その他の目標

公開項目の公開度	ホームページ上で、学校教育法に定める公開項目の公開度を向上		
マスコミへの掲載数	43 件 (H22) 以上での推移を目指す		
CO ₂ 削減量	17 年度 (1,385.4t) を基準として、中期目標期間内に 5% 削減を目指す	H17-1,385.4t (ピーク) H18-1,272.9t H19-1,255.5t H20-1,192.7t H21-1,135.6t H22-1,285.6t	H22 鳥取大学 25,548t、山口県立大 1,019t